

実施機関名：東北大学

受付番号：	2011-302
研究課題名	東日本大震災ストレスによる心身症患者の臨床病態への影響
研究期間	西暦 2011年10月（倫理委員会承認後）～2013年3月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録）
上記材料の採取期間	西暦 2010年10月～2011年9月
意義、目的	<p>ストレスに対する心身症患者の症状の強度および性状の経時的変化を調査し、心身症の臨床病態像を明らかにする。</p> <p>東日本大震災は被災した人々に一様に大きなストレスを与えた。心身症はストレスによる影響を受けやすく、ストレスにより症状が増悪するストレス関連疾患である。強力なストレス体験は、心身症患者の症状を増強させるほか、症状の性状および数、ならびに時間経過において特異な変化を及ぼす可能性がある。震災ストレス体験が心身症患者にどのような影響を与えたのか、症状の詳細な経時的かつ定量的な解析から心身症の病態を明らかにすることを目的とする。</p>
方法	<p>気仙沼市立病院および女川町立病院心療内科外来を通院中の患者を対象に、2010年10月から2011年9月までの診療録の記載から、年齢、性別、疾患名、服用薬物名、被災状況および症状について集計する。被災状況は、被災なし、家屋、家族、親戚、知人、職場から該当するものを調査票（別紙）に記載する。症状の種類は、震災前後の診療録に記載されているものから同調査票に記載する。症状の強度は、診療録の記載内容から記録者が評価して同調査票に記載する。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学病院心療内科 庄司知隆 Tel：022-717-7327